

次世代内航船（スーパーエコシップ）の研究開発 (平成13～17年度)

〔背景〕

- 内航海運業に対する一層の効率化要請
- 地球環境問題の深刻化等

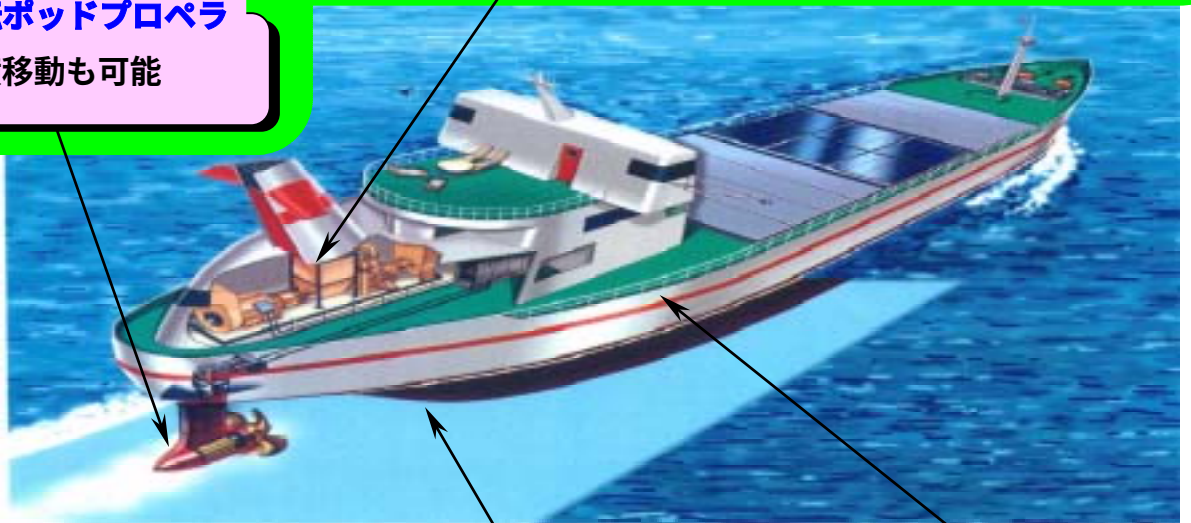
次世代内航船推進システム

スーパーマリンガスタービン^(注) + 電気推進システム

環境負荷低減 (NO_x 1/10, SO_x 2/5, CO₂ 3/4) 騒音 1/100 船上メンテナンスフリー

二重反転ポッドプロペラ

真横移動も可能



理想の船型

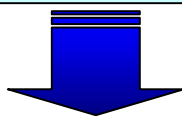
燃料消費量約10%向上

貨物スペースの増大

積載量約20%増大

(注) 従来型のカスタマーと比べ燃料消費量約30%削減

- 内航輸送コストの削減
(モーダルシフトの進展)
- 船員の居住・労働環境の改善



- 内航海運の活性化
- 物流における環境負荷低減

開発スケジュール

	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度
新船型	市場調査・基本設計			建造	実証試験
	船型開発				
ポッド	要素技術開発		実寸モデル製作・試験	次世代内航推進システム実証試験計画・製造	
SMGT	（研究開発）		（耐久試験）		